



夕暮れ時の早めのライト点灯運動

夕暮れ時の早めのライト（前照灯）点灯

日没時間が急激に早まる秋から年末にかけては、児童や生徒の下校、職場や買物から帰宅などの、「車と人」の動きが重なり合うことや、視認性の低下などの要因により、交通事故の危険性が非常に高まります。



ドライバーは、暗くなる前

午後5時

には早めのライト点灯をすることで、歩行者や自転車、他の車に自分の車の存在に早く気付いてもらい、交通事故を防止しましょう。



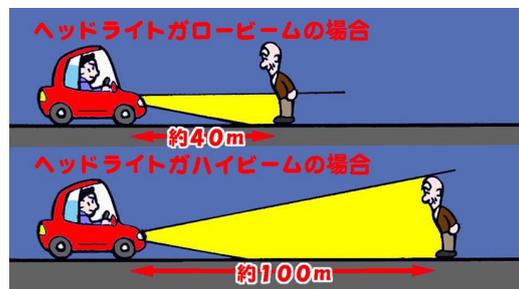
車のライトは、原則ハイビーム

ヘッドライトで確認できる範囲は

ロービーム(下向き) 約40メートル

ハイビーム(上向き) 約100メートル

で、ハイビーム(上向き)はロービーム(下向き)と比べて2倍以上遠くの歩行者などを発見することができます。



夜間、車を運転するときは、原則ハイビーム(上向き)で運転しましょう。ただし、前の車に追従しているときや、対向車がいるときはライトをロービーム(下向き)に切り替えましょう。

歩行者は反射材を着用しましょう！

朝夕の薄暗い時間帯や夜間は、視認性が低下するため、ドライバーから歩行者の姿が見えにくくなります。

外出する際は

- 反射タスキやリストバンドなどの反射材を身に付ける
- LEDライトなどの照明器具を活用する
- 白色や黄色などの明るい色の服を着用する

などして、周りに自分の存在を知らせるようにしましょう。

自転車も注意！！

夕暮れ時は早めにライトを点け、反射材を身に付けることはもちろんですが、自転車の点検も重要です。

きちんとライトが点くか、反射器が付いているかなど、運転前の点検を確実にを行い、事故防止に努めましょう。

暗くなると自動で点灯する「オートライト」の実装も有効です。



反射材の活用を広めよう♪

歩行者や自転車利用者が、薄暮時や夜間に交通事故に遭わないようにするためには、反射材やLEDバンド等の活用が効果的です。

反射材リーダーとして、皆様方が率先して反射材を活用し、周りの方、地域の方々に着用の呼びかけをお願いします。



反射タスキ



LEDバンド



キャッチバンド式



反射材の着用



複数の反射材着用でより安全に！

